

行政評価（外部評価）結果総括表

＜平成23年度実施計画分＞

平成24年7月

行政評価（外部評価）結果総括表（平成23年度実施計画）

第1節 産業を創造しゆたかで元気なまちをつくる

第1項 川西ブランドの創造

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
産学公による調査、研究機関の創設と川西ブランドの創造	（仮）川西ブランド研究所の創設	68.8	川西スタイル研究委員会からの継続性が見られない。一歩進んだ具体的な動きが必要である。産官学を含めた川西ブランド研究所の早期創立が望まれる。	
	資源、情報の活用と発信	68.8	具体的に資源、情報が活用されていない。インターネットの活用なども含め、地域資源が何であるか明確にしながらか川西ファンの拡大を図りたい。	
	産業間のネットワークの促進	68.8	施策の具現化（ネットワーク化）には町の強力なリーダーシップが必要と思われる。町の重要な施策の一つと考えられるので、JA、商工会と交流を深めるなど、今後より具体的に進んでいくことが望まれる。	
	地場産品の開発と流通の促進	75.0	地場産品の開発構想には一定の成果が見られるが、具体的な商品開発の推進を充実させ、流通へと結びつけるため更なる調査研究を積極的に行っていく必要がある。	
新たな産業づくりの促進	コミュニティビジネスの創造	75.0	やまがたダリヤの里体験受入協議会の受け入れのみならず、コミュニティビジネスの推進に向け一歩踏み込んだ企画や取り組みが望まれる。	
	新エネルギー利活用の調査、研究	62.5	雪や太陽など新エネルギーの利活用の取り組みは今後必要になってくると思われる。更に調査研究を積み重ね産業まで発展していくような現実的なものとなっていくことを期待したい。	
	起業の育成、支援	75.0	起業や事業者への制度周知を強化させるとともに、起業に向けた学習会等環境面での対策も重要と思われる。総合的に育成、支援となる施策でありたい。	

第2項 持続し発展する農業の振興

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
多様な担い手の育成	新たな担い手の育成、支援	87.5	担い手を発掘しないと当然のことながら育成、支援もできない。担い手不足の原因を検証し、その対策を図ることが必要である。ニーズを的確に捉え、方向性に見合った進め方が望まれる。	
	経営形態に合わせた担い手の育成	87.5	多様な経営形態に対応できる施策となるような取り組みが必要である。今後、具体的な支援策を明確にするとともに、継続した支援となることが強く望まれる。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
	支援体制の充実	87.5	経営安定をサポートする支援を継続、充実されたい。	
産学公連携による支援拠点づくりの促進	置賜農業高等学校との連携強化と機能充実の促進	75.0	各事業を推進するため、拠点となる置賜農業高校と町との連携強化は重要である。人材育成と技術指導の機能を更に充実されたい。	
地域営農システムの確立	地域営農組織の育成、法人化の推進	81.3	地域営農組織の育成は今後とも更に充実させていくことが望まれる。ニーズに合った具体的な施策となるよう期待したい。	
	農地の集積化	93.8	農地の有効利用に向け、今後更に農地の流動化と集積が進むよう推進されたい。	
競争力の高い水田農業の確立	環境保全型農業の推進	87.5	永く生産を継続するため、環境保全型農業の定着とその支援が大事である。安全安心な農産物を生産できる農地の拡大とエコファーマーなどの農業者への支援を更に推進されたい。	
	付加価値の高い売れる米づくりの推進	81.3	消費者ニーズを把握することで、生産者が継続して取り組める付加価値の高い売れる米づくりの推進となることが望まれる。	
高収益型周年農業の推進	戦略的作物による産地づくりの推進	87.5	新規作物の導入には、市場性や消費者の動向を十分考慮したうえで選定されたい。定着した産地が作られていくことを期待したい。	
	畜産の振興	87.5	銘柄「米沢牛」を柱としながら、今後とも畜産の振興を図られたい。	
	林産物の振興	87.5	今後とも、置賜産木材を活用した林産物の振興を図られることが望まれる。	
信頼をつくる生産流通体制の確立	食の安全の確立	81.3	食の安全は、生産者のみならず消費者の最大の関心事である。何を取り組むかは検討する必要があるが、今後とも安全安心な農産物生産のサポートを図られたい。	
食生活、食文化を通じた豊かな生活の推進	食農教育の推進	75.0	食は人が生きていくうえでの基本であり、農業の理解をベースにした食育の推進が強く望まれる。地産地消を柱とした食育教育を更に推進されたい。	
農村環境、生産基盤の整備と保全	生産基盤の整備	87.5	今後とも国や県と連携を図りながら推進されたい。	
	主体的な維持管理活動の推進	87.5	農地の維持管理は、農業人口が年々減少していく中での大きな課題である。今後とも継続的に推進されることが強く望まれる。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
森林の保全と緑化の推進	森林保全、緑化推進	87.5	住み良い居住環境を確保するうえでも、より良い森林保全、緑化の推進を図られたい。	

第3項 賑わいのある商業の振興

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
人材育成と組織づくり支援	後継者、人材の育成支援	62.5	後継者や人材の育成には一歩踏み込んだ取り組みが必要である。具体的な課題対応をされたい。	
	組織づくり支援	68.8	施策に対する事務事業を再構築し、賑わいを取り戻し市街地の活性化に努められたい。	
商業経営への指導支援	経営指導の強化	68.8	商業の振興及び発展のため更なる事業展開を検討し、経営指導の強化を図られたい。	
中心市街地の賑わいづくり支援	魅力ある店舗づくり支援	68.8	魅力的な「だり庵」を再構築するなど、核となるものの整備は中心市街地の賑わいづくりに必要不可欠である。今後一層工夫した取り組みと支援を推進されたい。	
	きれいな街づくり支援	68.8	中心市街地活性化計画に基づいて具体的な事業化を進めるため、住民、関係団体等と連携を密にし、役割分担や方向性を明確にし推進されたい。	
地場製品の活用	商品開発への支援	62.5	各事業者と更に連携を図りながら新たな商品開発を目指し、より効果的な開発支援を図られたい。	
	地場製品の販路拡大	68.8	6次産業化推進計画に基づき、地場製品の販路拡大に向けて、具体的かつ継続的支援と環境の整備を図られたい。	

第4項 ものづくりを育む工業の振興

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
企業誘致の推進	誘致促進に向けた環境づくり	68.8	雇用の確保と多くの若者の定着を目指し、環境整備を検討し企業誘致を強く推進されたい。	
	融資、奨励金等の支援	75.0	支援制度の在り方を更に検討しながら継続的、より効果的な支援となることを望む。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
企業の経営安定の支援	企業間の交流促進	56.3	情報交換の場の設定など、企業間の交流促進の具体的な手法について更に検討し進められたい。	
	各種制度を活用した経営支援	87.5	金融対策の継続的な取り組みが今後とも期待される。	
起業支援	起業、開発支援	81.3	制度のPRを積極的に行うと共に、利活用しやすい制度設計となるよう検討されたい。	
	多様な就労活動への支援	75.0	現在の就労活動支援を継続すると共に、更に多様な就労活動支援となるような事業展開を望む。	
雇用対策活動の支援	雇用活動に対する相談支援	87.5	厳しい雇用環境を少しでも和らげるため、積極的に各種事業を実行し雇用活動支援を図られたい。	
	勤労者の福祉向上支援	75.0	勤労者の生活安定に向け、制度資金や融資の継続した取り組みを望む。	

第5項 資源活かした観光の振興

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
ダリヤの高付加価値化とブランド力の向上	ダリヤ栽培管理体制の充実	87.5	ダリヤの栽培管理体制を充実させるため、管理者レベルの向上（研修や研鑽の場の設定）や体制の整備を図られたい。	
	ダリヤの普及促進	81.3	ダリヤの町として町内をダリヤであふれた町にするため、栽培技術の向上やダリヤの普及推進が必要である。関係機関と連携しての取り組みを図られたい。	
	ダリヤの産業化の促進	68.8	ダリヤの品質の向上（ブランド化）は産業化促進のため必要不可欠である。それとともに商品開発に向けた取り組みが具体化することを期待したい。	
地域資源の活用と交流の促進	ふれあいの丘の充実	75.0	ふれあいの丘の充実に向け、計画的な整備を進められたい。	
	地域資源のネットワーク化と活用	68.8	地域資源を再認識できるような活用の手法や新たな視点での取り組みによりネットワークが今後進んでいくことを期待したい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
	グリーンツーリズムの推進	62.5	具体的な受け入れ体制の整備などを進めながら、町の多様な資源を活かした継続的なグリーンツーリズムになるよう取り組まれない。	
観光PR活動及び推進体制の充実	広域観光の推進	81.3	本町地域資源の素晴らしさをアピールする企画立案の取り組みが一層進むことを期待したい。	
	情報発信、イベントの充実	68.8	興味をいだかせるような情報の発信とイベントの充実により、地域の活性化を目指した取り組みとなるよう期待したい。	
	推進体制の充実	68.8	関係機関の連携強化により、推進体制の更なる充実を図られたい。	

第2節 みんなで支えあい安心して暮らせるまちをつくる

第1項 子育て環境の充実

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
施設環境の充実	施設の整備と効率的な運営	93.8	幼児施設再編による開園準備や私学支援、認可外保育所に係る運営支援等を効率的に進め、利用者のニーズに応えられるサービスの充実を図られたい。	
	保育サービスの充実	87.5	今後とも、保育環境の整備、預かり保育など、保護者のニーズに対応した事務事業の展開を図られたい。	
子育て支援センター機能の充実	相談体制、情報提供の充実	81.3	相談体制の充実、情報ツールの活用を図り、きめ細かな情報提供を図られたい。	
	交流と遊びの場の提供	87.5	子育て支援センターの機能強化や、各地区交流センターで行われている場の提供への支援継続と、利用しやすい環境を整備されたい。	
	地域子育て団体等との連携	87.5	各地区で行われている育児サークルへの連携支援の充実と、子育て支援に向けたネットワーク化など、子育て支援センターの連携強化を図られたい。	
地域子育ての充実	子育てサークル、託児ボランティアの育成	87.5	子供達の健全育成への意欲的な取り組みが評価できるが、子育てサポーターリーダー養成講座や放課後児童クラブの運営支援等、事務事業の一層の強化支援を図られたい。	十分な予算措置を講じられたい。
	ふれあいの場、遊びの場の空間づくり	81.3	各地区の特性を活かした一層の取り組みと多様な連携を図られ、更なる交流の場を期待したい。	
	放課後児童の健全育成	87.5	放課後クラブや子供教室は、放課後児童のニーズに応じており、地区の方々との関わりにもつながっている。更なる支援と充実を図られたい。	子供達の健全育成への意欲的な取り組みが評価できるが、十分な予算措置を講じられたい。

第2項 元気づくりの推進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
元気づくり活動の充実	健康体力づくりの推進	87.5	食育推進計画の策定による健康づくりの明確化が必要であり、総合的な再構築が必要である。	食育の定義の明確化と産業振興、教育総務、健康福祉課の連携を図られたい。
	元気づくり団体の育成支援	81.3	実施プログラムの再構築をし、リーダーの育成支援を図られたい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
健康づくりの推進	指導、相談体制の充実	87.5	検診受診率の向上とフォローアップの充実を図るとともに、健康管理システムの整理を図られたい。	
	保健事業の推進	87.5	町民ニーズを把握し、検診受診率の向上に向けた工夫を図られたい。	
生活習慣病予防と感染症予防の推進	生活習慣病予防の推進	87.5	施策に対する事務事業の一層の強化を図るとともに、周知方法にも工夫を講じ、受診率の向上に努めていただきたい。	
	感染症予防の推進	93.8	施策に対する事務事業の一層の強化を図るとともに、周知方法にも工夫を講じ、受診率の向上に努めていただきたい。	

第3項 健康・医療・福祉・介護の連携

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
健康、医療、福祉、介護の連携強化とサービスの向上	健康福祉センター機能の充実、整備	50.0	センター機能の明確化とあり方を整理し、早急に検討すべきである。	

第4項 介護予防と支援体制の充実

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域包括支援体制の構築	地域包括支援センターの創設	93.8	包括支援センターと在宅介護支援センターの連携を更に進め、一層の機能充実を図られたい。	
	介護予防の推進	87.5	事務事業の一層充実を図り、介護支援事業と健康推進事業との整合性を図られたい。	介護予防事業により参加しやすい工夫を講じられたい。
	継続的な介護支援	93.8	関係機関との連携強化により、ケア体制の構築を図られたい。	
介護保険制度の適正な運用	在宅介護サービスの充実	93.8	介護保険事業計画に基づき、事務事業の一層の強化を図られたい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
	施設介護サービスへの支援	93.8	介護保険事業計画に基づき、事務事業の一層の強化を図りたい。	
	家族介護者への支援	93.8	介護保険事業計画に基づき、事務事業の一層の強化を図りたい。	

第5項 地域医療の推進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域医療環境の充実	公立置賜総合病院との連携強化	93.8	公立総合病院は、町民の安心・安全な生活を送るのに必要不可欠であり、一層の連携強化を図りたい。	
	川西診療所の機能充実	87.5	診療所の機能強化とともに、今後の施設整備及び診療体制のあり方について具体的検討を図りたい。	
	町内医療機関との連携	93.8	町民の健康づくりのため、町内医療機関との更なる連携強化を図りたい。	今後さらに町外医療機関との連携を検討されたい。
	医療給付の適正な運用	100.0	適正な制度運用を図り、本町独自の医療給付サービスの継続を図りたい。	医療費無償化拡大による乱受診防止やジェネリック医薬品の使用促進を図りたい。

第6項 高齢者の社会参加の促進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
高齢者が活躍できる場の創出	同世代、他世代間との交流の場の創設	87.5	他世代との交流の場の創設に向けた具体的な事務事業の一層の展開を図りたい。	
	学習機会の提供	81.3	高齢者層の学習意識も多様化しつつ、元気で充実した生活を送るため、参加意欲を高める事務事業の再構築を図りたい。	
	主体的活動への支援	81.3	活動支援対策の検証及び支援のあり方について検討を図りたい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
	就労機会の拡大	87.5	シルバー人材センターを核とした、目的に合わせた受け皿づくりを図りたい。	

第7項 ノーマライゼーションの推進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
福祉相談機能の充実	福祉相談窓口の充実	93.8	民生児童委員の役割は近年一層重要であり、関係機関との継続施策展開が望まれる。	民生児童委員の負担軽減のため、活動経費等更なる支援を図りたい。
	いじめ、虐待防止ネットワークの整備	93.8	関係機関及び団体等との連携強化し、きめ細かな対応を図りたい。	
地域社会福祉の充実	生活保護、母子家庭等支援	100.0	県の関係機関、民生児童委員と密に連携を図り、きめ細かな対応が求められる。	
	福祉関係団体との連携強化	100.0	福祉関係団体との一層の連携強化を図りたい。	
	地域支援体制の充実	93.8	地域全体で支える仕組みが必要であり、NPOやボランティア団体等との連携強化を図りたい。	
障がい者の生活支援サービスの充実	障がい者への住民理解の高揚	87.5	障がい者への住民理解の高揚を重点に、障がい者週間等での更なる住民周知を図りたい。	
	在宅生活支援の推進	87.5	制度に基づくサービスは基より、独自事業の有効性を検証し、着実な事務事業の推進を図りたい。	
自立支援、社会参加の促進及びバリアフリー化の推進	自立支援、社会参加の促進	100.0	障がい者の自立を目指した、適正なサービスの提供と給付を図りたい。	
	公共施設のバリアフリー化の推進	62.5	公共施設全体での整備計画を明確にし、具体的事務事業の再構築を図りたい。	

第8項 危機管理体制の確立

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
危機管理に対する意識の向上	危機事態の情報収集及び調査、研究	75.0	安心して暮らせる町づくりは町民の願いであり、防災対策事業を強化するとともに、自然災害のみならず、隣県(新潟、福島、宮城)の原発やテロなどへの対応策についても検討されたい。	
	危機事態に対する町民への意識啓発	87.5	東日本大震災により、危機事態への町民の意識啓発に関心が深く、具体的施策展開の充実を図られたい。	
災害予測対策の推進	情報受発信体制の強化	87.5	昨年の大震災以来町民の関心も高いものがあるので、国や県、関係機関の連携とともに町民への伝達システムなど包括的な検討を図られたい。	
	教育、訓練の充実	87.5	防災訓練の内容の再構築が必要であり、地震、風水害対策についても継続して実施を図られたい。	
	災害予測調査の推進	87.5	災害別のハザードマップの作成等を行うとともに、本町及び関係機関との連携強化を図られたい。	
	機器、資材等の整備、危険個所の解消	87.5	防災備品の備蓄強化が必要であり、備品保管場所の検討、危機箇所の解消等の取組みの一層の強化を図られたい。	
危機管理体制の整備	専門的な人材の育成	81.3	専門的知識と技量を併せ持った、危機管理能力を身に付けた人材の育成を図られたい。	
	自主防災組織の育成	93.8	地区ごとの自主防災組織をさらに充実・発展させ、全町的な取り組みを図られたい。	
	総合防災体制の整備	87.5	東日本大震災を受け、総合防災体制計画の再見直しが求められ、関係機関、団体と一層の連携を図るよう求められる。	
	広域防災体制の充実	93.8	災害相互援助や対応情報の交換は災害時の町民ニーズに合わせており、より一層の連携強化を図り体制強化を図られたい。	
防災拠点として庁舎及び公共施設の機能調査	庁舎建設に向けた調査検討	50.0	災害時の防災拠点施設として、庁舎整備は町民ニーズからみても重要課題であり、調査検討を早急に図られたい。	
	公共施設の耐震調査と整備	87.5	耐震調査結果を受け、計画的な施設整備を継続的に図られたい。	

第9項 防犯・交通安全の推進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
生活安全に向けた体制整備	関係機関との連携、強化	87.5	施策としては概ね適切であり、より一層の機能強化を図りたい。	
	地域ぐるみの防犯体制づくり	87.5	各地区ごとのニーズや状況に合った防犯活動の推進体制の一層の強化を図りたい。	
防犯活動の推進	防犯意識の高揚	87.5	住民全体の意識高揚に向け、関係機関や関係組織とのより一層の連携強化を図りたい。	
	防犯設備の整備促進	87.5	関係機関や関係組織とのより一層の連携強化を図り、整備が滞ることの無いよう取り組まれない。	
交通安全活動の推進	関係機関との連携、強化	93.8	今後も交通事故の減少をめざし、積極的に関係機関との連携強化を図りたい。	
	交通安全教育の推進	87.5	関係機関、団体と連携し、一層の事業展開を図りたい。	
	交通安全施設の整備促進	93.8	整備計画に基づき、継続的な整備を図りたい。	

第10項 消防・救急体制の強化

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
消防体制の充実	火災予防の推進	87.5	各事務事業を通して施策実現に向けた取り組みを一層強化された。	
	消防、防火施設の整備	93.8	消防力整備計画に基づき、継続的な推進を図りたい。	
	消防活動の充実	93.8	施策実現に向け、継続的に取り組まれない。	
	消防団の再編と自主防災組織との連携	87.5	消防団員確保と消防団再編に向けた取り組みを進展させ、自主防災組織との連携については、役割分担等明確にされたい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
救急体制の強化	応急活動の推進	93.8	応急活動推進に向けた普及啓発活動の一層の展開を図りたい。	
	メディカルコントロール体制の強化	87.5	高度救急医療体制の強化は町民の願いであり、施策に対する事務事業の充実を図りたい。	
消防、救急体制の広域連携等の調査研究	広域連携等の調査、研究	100.0	広域消防は発足することとなったが、非常備消防活動との連携強化を図りたい。	

第3節 住み良い環境を創り次世代につなげるまちをつくる

第1項 計画的な土地利用の推進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
歴史や文化など地域資源を活用した中心市街地づくりの推進	町民と行政の協働による街づくり推進体制の構築	81.3	諏訪峠古道保存会への支援継続するとともに、町全体に保存会の情報を提供されたい。	
	街づくりデザインの確立	68.8	最終目標を明確にし、具体的な取り組みを図られたい。	
	中心市街地の賑わいづくりの支援	75.0	小松地区のみならず、全町的な取り組みにより中心市街地を形成されたい。	
	羽前小松駅の多角的利活用の推進	75.0	駅の運営には、専門的な人材や知識を取り入れながら多種多様な取り組みを進められたい。	
	都市計画の見直し	81.3	住民の理解を得ながら、マスタープランの策定を進められたい。	
ダリヤ園、内山沢一帯の土地利用の構築	ふれあいの丘の整備	75.0	多くの方に利用いただけるような整備を積極的に取り組まれたい。	
	協働の杜の創造	75.0	町民の憩いの場として認知度を高めるとともに、多くの町民による見守り体制を取り組まれたい。	
下小松古墳群周辺の土地利用の構築	古墳、里山、山野草(植生)を活かした憩いと学習の丘の整備	81.3	地域への支援を継続しながら、事業に取り組まれたい。	
公立置賜総合病院周辺の土地利用の構築	広域的視点に立った土地利用の推進	75.0	都市計画マスタープランの策定により方向性を明確にされたい。	
	医療、住宅、商業が融合したまちづくりの推進	75.0	都市計画マスタープランの策定により方向性を明確にされたい。	
町内各地区の特性を生かした土地利用の推進	地域資源の発掘と地域デザインの確立	75.0	各地区の情報交換を行いながら、特色ある地域づくりを図られたい。	
	相互連携による土地利用の推進	75.0	各地区の情報交換を行いながら、特色ある地域づくりを図られたい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
土地利用の適正管理 と地籍調査の推進	川西町国土利用計画 に基づく土地利用の 適正な管理運営	81.3	情報収集を図りながら、適正な対応を図られたい。	
	地籍調査の推進	81.3	事業の進捗率を高められたい。	

第2項 交通基盤の整備

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
道路交通基盤の整備 とネットワーク化の 促進	幹線ネットワークと しての縦軸と横軸の 整備促進	81.3	高規格道路の整備にあたっては、将来的なまちづくりを考慮しながら、早期完成に向けて取り組まれたい。	
	幹線の結節による広 域ネットワーク化	81.3	高規格道路の整備にあたっては、将来的なまちづくりを考慮しながら、早期完成に向けて取り組まれたい。	
生活道路等の整備促 進	町内道路の整備	81.3	地域実情にあった道路整備を図られたい。	
	安全施設の整備促進	81.3	施設整備においては、地区からの要望も取り入れながら、安全確保を図られたい。	
	維持管理体制の構築	81.3	将来的な道路の維持管理が重要であるため、住民ボランティア活動を積極的に取り入れるとともに、維持管理に係る予算を確保されたい。	

第3項 生活交通の確保

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
町民の視点に立った 生活交通システムの 構築	デマンド型乗合交通 システムの構築	87.5	土日運行等利用者のニーズに配慮しているため、さらなる利便性の向上に努められたい。	
	町民が主体となった 移動サービスの構築	75.0	運送法に基づきながら、課題解決を図られたい。	
鉄道の利用拡大の促 進	米坂線及びフラワー 長井線の利用拡大	62.5	現代の車社会と鉄道利用主体が学生であることを考慮しながら、効率ある取り組みを進められたい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
	フラワー長井線を支える仕組みづくり支援	62.5	現代の車社会と鉄道利用主体が学生であることを考慮しながら、効率ある取り組みを進められたい。	

第4項 高度情報基盤の整備

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
高度情報化に向けた環境整備と人づくりの推進	地域情報基盤の整備促進	81.3	情報基盤の活用目標を明確にし、住民の利便性が高まるような取り組みを実施されたい。	
	情報化推進のための人づくり	75.0	情報化推進を図るため、研修等により多くの住民が情報通信機器へ使用出来るよう取り組まれたい。	
高度情報基盤を活用した地域情報の受発信と多面的な活用の推進	情報ネットワークの形成	81.3	医療面における有効活用について検討を図られたい。	
	ネットワーク加入促進と相互利活用の推進	75.0	多くの住民にPRし、一層の加入率向上に取り組まれたい。	

第5項 生活環境の整備

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
生活排水対策の推進	公共下水道の計画的な整備	87.5	下水道接続へのニーズを考慮しながら、取り組まれたい。	
	合併処理浄化槽の設置促進	81.3	住宅リフォーム等が増加している事を考慮しながら推進するとともに、生活排水による環境汚染防止に努められたい。	
	公共下水道、農業集落排水施設の利用促進	81.3	さらなる利用促進を図られたい。	
	河川、水路の美化、浄化活動の促進	81.3	環境保全に対する知識や意識高揚を図りながら取り組まれたい。	
安定した水道の供給	水道施設の計画的な整備と維持管理の推進	87.5	水道会計の健全化を図りながら、計画的な更新を図られたい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
	水道業務の広域化、共同化の調査、研究	87.5	更なる調査研究により、水道業務の広域化に向けた協議を進められたい。	
住環境の整備	地域住宅計画の策定	75.0	老朽化した町営住宅の検討を進めるとともに、リフォーム補助金制度を継続されたい。	
	潤いのある市街地形成の検討	56.3	有効性を考慮しながら、土地の利活用について検討されたい。	
克雪及び利雪の推進	除雪、排雪体制の構築と防雪、融雪対策の促進	87.5	除雪体制の強化を図りながら、冬期間の道路確保のため積極的な対策を図られたい。	
	雪の有効利用	81.3	雪冷房システムの今後に期待するとともに、町のアピールにもつながられたい。	

第6項 環境の保全

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地球環境の保全	省資源、省エネルギーの推進	81.3	これまでの環境問題への取り組みを継続し、効果のあるものとされたい。	
	環境マネジメントシステムの推進	81.3	これまでの取り組みを有効活用しながら、独自システムのさらなる運用推進を図られたい。	
環境教育の推進	環境教育の推進	81.3	社会教育施設や学校、民間業者とのさらなる連携を図られたい。	
	団体、人材の育成	81.3	継続的に研修会を行い、人材の育成を図られたい。	
良好な環境保全と次世代への継承	ごみの減量化の推進	87.5	ゴミ分別の推進を図り、負担金の軽減を図られたい。	
	豊かな自然環境の保全	81.3	EMの有効性について検証を行いながら、町民に広める活動を取り組まれたい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
	快適な生活環境の創造	81.3	大規模施設からの悪臭対応について、継続的な監視と指導強化を図りたい。	
新エネルギーの調査 研究と利活用の推進	自然エネルギーの利活用	81.3	自然エネルギー利用に対する研究を取り組まれない。	
	リサイクルエネルギーの利活用	68.8	リサイクルエネルギー利用に対する研究を取り組まれない。	
	クリーンエネルギーの利活用	62.5	クリーンエネルギー利用に対する研究を取り組まれない。	

第4節 人と地域が共にかがやくまちをつくる

第1項 ダリヤのまちづくりの推進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
ダリヤ（花）を育み、町を愛でるまちづくりの推進	（仮）花づくり銀行の創設	43.8	町民にとって分かりにくい事業であった。町民への説明や委託先への委託内容の明確化などに努められたい。	
	花いっぱい運動の推進	87.5	各地区で住民参加しやすい雰囲気作りに工夫されており、町民の認知度も高いが、地域ニーズを把握しながら実施されたい。	
	ダリヤロードの構築	56.3	事業の全体像が明確になっていない。町全体を巻き込み実施できるよう、工夫されたい。	
	花による景観づくりの推進	87.5	事業の全体像が明確になっていない。課題を明確にしながら推進されたい。	
さくらの丘づくりの推進	「協働の杜」の創造	75.0	「創造」の観点を明確にしながら実施されたい。	
	地区ごとのさくらの名所、丘づくりの推進	68.8	町民主体で実施するためには町民間の共通認識を広める工夫、アイデアが必要と思われる。	

第2項 文化まちづくりの推進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別評価
川西文化の次世代への継承	歴史的、自然的文化財の調査、保護及び学習プログラムの提供	87.5	町民を巻き込み更なる推進体制を強化されたい。	
	地域文化の継承と活用	81.3	町民を巻き込み更なる推進体制を強化されたい。	
	下小松古墳群を核とする憩いと学習の丘の整備	81.3	町民ニーズを明確にしながら実施されたい。	
芸術文化の発信と川西文化の創造	人材、団体の育成支援	81.3	特定の町民の育成にとどまらないよう、幅広い育成支援に努められたい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別評価
	(仮) アートサポートシステムの構築	81.3	住民ニーズとの整合性を図りながらフレンドリープラザを十分活用した事業展開に努められたい。	
	活動の場、発表機会の創出	81.3	住民ニーズとの整合性を図りながらフレンドリープラザを十分活用した事業展開に努められたい。	
	フレンドリープラザの充実	81.3	ハード面の整備については計画通り進められている。住民ニーズとの整合性を図りながらフレンドリープラザを十分活用した事業展開に努められたい。	
	遅筆堂文庫の充実と利活用の推進	93.8	住民ニーズを把握しながら、井上ひさし氏をクローズアップした遅筆堂文庫としてのイベント実施などをおして町民に浸透する事業展開に努められたい。	
	町立図書館の充実	81.3	住民ニーズに応えられる本の選定に努められたい。	

第3項 地域分権社会の推進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域コミュニティの再構築	地域自治再構築への支援	81.3	自治会組織への対応が不十分であるため、事業のあり方について検討されたい。	
	相互扶助とボランティアの醸成	81.3	自治会組織における「相互扶助」「ボランティア」がどのような効果をもたらすのか検証するとともに、さらなる啓蒙を図られたい。	
地域づくりの推進	地区ごとのまちづくり計画（地区計画）の策定促進	100.0	地区ごとの計画策定が進められており、さらなる推進を図られたい。	
	地域自立支援制度の確立・導入	93.8	各地区において地区経営の意識が高揚している。今後は、より広く住民ニーズの把握に努められたい。	
	地域づくりの核となる「人づくり」や地域実践活動の支援	81.3	「まちづくりマイスター」や「地域おこし協力隊」等の事業目標を明確にし取り組まれたい。	
地域の宝を生かす活動の推進	地域（人、物、歴史）を知る学習活動の促進	81.3	住民ニーズの把握に努めるとともに、事業目標を明確にされたい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
	宝を磨くプログラムの実施	81.3	住民ニーズの把握と活用策の検証に努め、全体像を明確にされたい。	

第4項 交流の拡大

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
交流基盤の構築	交流拠点の機能充実	87.5	ハード面の進捗は良好であるが、ソフト面については工夫を凝らしながら機能充実を図られたい。	
	交流資源の充実、ネットワーク化	62.5	「やまがた里の暮らし大学校」の検証を行うとともに、住民ニーズを把握しながらネットワーク拠点の充実を図られたい。	
	情報提供システムの構築	68.8	高度情報化を活用した取り組み状況を把握し、事業目標を明確にされたい。	
地域間交流、国際交流の推進	各種交流事業の促進	75.0	成果の内容が問われる段階に入っており、これまでの取り組みの効果について検証されたい。	
	自治体間、民間の交流連携の推進	75.0	東京川西会や町田市との継続的な交流は評価できるため、今後はビジネス面も含め目標を設定し取り組まれたい。	
	国際交流の推進	75.0	人材バンクを活用しながら国際化への対応を図るとともに、ビジネス面も考慮しながら交流の推進を図られたい。	
交流人材の育成と川西ファンの拡大	交流人材の育成	56.3	「やまがた里の暮らし推進機構」の役割や「交流人材」のあり方について明確化されたい。	
	川西ファンの拡大	56.3	これまでの取り組みをもとに、より効果のあるものとされたい。	

第5項 教育環境の整備・充実

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
教育内容の充実	地域の特色を活かした教育の推進	87.5	「地域の特色」を明確にするとともに、地域素材の活用について、さらなる意識高揚を図られたい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
	新たな社会に対応した学習体制の充実	87.5	社会的な潮流のみならず、「新たな社会」の定義について明確にし取り組まれない。	
	教職員研修、指導体制の充実	87.5	これまでの取り組みを検証し、具体的な成果を明確にされたい。	
教育環境の充実	学習効果を勘案した学区の再編	68.8	効果や効率性のみならず、検討手法も含め見直しを図られたい。	
	学校給食の効率的、効果的運営	81.3	地産地消のさらなる推進を図るため、行政内部の推進体制を整理されたい。	
	施設の計画的な整備	87.5	旧二中施設の利活用について明確にされたい。	

第6項 生命の教育の推進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
家庭教育力の向上	教育連携体制の構築	62.5	「教育連携」は必要不可欠であり、効率的に取り組まれない。	
	共育環境づくりの推進	87.5	計画に基づき取り組まれているため、町民ニーズを把握しながら、さらなる推進を図られたい。	
	地域子育ての意識づくりの推進	87.5	子育てサポーターリーダーの活用策について検討されたい。	
こころの教育の推進	性の教育、いじめ、不登校への対応	87.5	各々の事業の取り組みについて、さらなる推進を図られたい。	
	生き抜く力の育成	93.8	事業効果について明確にされたい。	
	食育教育の充実	68.8	地産地消のさらなる推進を図るため、行政内部の推進体制を整理されたい。	

第7項 生涯学習・生涯スポーツの推進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
学習推進体制の充実	施設機能の充実	81.3	限られた予算の中で、安全性や効率性を担保しながら取り組まれない。	
	情報提供の促進	62.5	出前講座等のニーズは高まっているため、利用率を高める取り組みを実施されたい。	
	交流による人づくりの推進	81.3	地区計画の実現に向けては、ニーズに応えられるような人材育成を図るとともに、より充実した支援体制の構築を図られたい。	
主体的な学習活動への支援	学習講座の提供	68.8	成人式などの事業目的が不明確であるため、事業目的を明確にし効果を上げられたい	
	地域活動への支援	87.5	行政内部の推進体制を整理し、効率性を高められたい。	
	情報発信の提供	68.8	どのような効果があったのか検証を実施し、その結果に基づきサービスを提供されたい。	
体力づくりの推進	町民一人一体力づくりの定着	87.5	事務事業の再構築を図られたい。	
	スポーツ機会の創出	87.5	事業の取り組みは順調であるため、さらなる推進を図られたい。	
競技力の向上	指導体制の充実	75.0	競技力の向上を図るため、指導者の育成・技術向上に取り組まれたい。	
	ホッケー競技の振興	81.3	ホッケー競技の振興を図るために、目標を明確にし取り組まれたい。	
スポーツ環境の充実	施設管理、運営体制の充実	75.0	スポーツに対するニーズは高まっているため、事務事業の効率性を考慮しながら取り組まれたい。	
	施設の整備、充実	87.5	施設整備は計画通り進められているため、今後も計画に基づき取り組まれたい。	

第8項 男女共同参画社会の推進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
社会参画機会の拡大	女性の活躍の場の創出	81.3	農家の女性のみならず、あらゆる分野の女性を対象に取り組みられるとともに、事務事業の再構築を図られたい。	
	政策、方針決定への男女共同参画の推進	62.5	従前の男女のあり方が変わりつつあり、積極的に意見を述べられる方もいられるため、会議等への参加のみならず、女性の参画手法について再考されたい。	
働くための環境整備	安心して子育てできる環境の整備	81.3	利用件数、参加者数等、現状分析を行いながら、住民ニーズに即した事業推進を図られたい。	
	女性の能力が発揮しやすい環境の整備	62.5	従前の男女のあり方が変わりつつあり、積極的に意見を述べられる方もいられるため、会議等への参加のみならず、女性の参画手法について再考されたい。	
意識啓発及び推進体制の確立	男女共同参画意識の醸成	62.5	行政内部において効果的な推進体制について検討し、効率性を高められたい。	
	男女共同参画社会実現のための推進体制の確立	62.5	従前の男女のあり方が変わりつつあり、積極的に意見を述べられる方もいられるため、会議等への参加のみならず、女性の参画手法について再考されたい。	

第9項 自主・自律のまちづくりの推進

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
協働のまちづくりの推進	川西町まちづくり基本条例の啓蒙	75.0	まちづくり基本条例への住民ニーズは高まっているが、認知度が低いことから、住民周知手法について検討されたい。	
	情報の共有化、広報・広聴活動の推進	81.3	住民ニーズを把握し取り組みられたい。	
	NPO、ボランティア団体等の育成支援	68.8	各々の団体では概ね連携が図られているため、事業内容を整理し取り組みられたい。	
	子どものまちづくりへの参画	50.0	交付団体に対して交付目的を明確にし取り組みられたい。	
行政経営システムの確立（役場改革）	川西町集中改革プランの実施	87.5	計画通り進められているため、さらなる推進を図られたい。	

政策名	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
	行政評価システムの導入	87.5	効率的に進め、さらなる推進を図りたい。	
	環境マネジメントシステムの推進	87.5	これまでの取り組みの成果をもとに、さらなる改善を行いながら取り組まれない。	
	職員の資質向上	93.8	研修の活用策について検討されたい。	
広域連携の推進	情報共有と相互理解の推進	87.5	住民ニーズはあるため、事業内容を精査しながら取り組まれない。	
	行政サービスの広域化と広域処理	87.5	広域化への対応は、順調に進められている。今後は、整合性を高めながら取り組まれない。	
	市町村合併に関する調査、研究	62.5	将来的な市町村合併を考慮しながら、情報収集に取り組まれない。	